

しんぎてーま かだい 審議テーマ・課題

かだいかいけつ ほうこうせい 課題解決の方向性

ぶかいとうぎ ないよう けっか 部会討議の内容・結果

第2回 7月9日開催 参加委員9名
第3回 9月24日開催 参加委員9名

1 地域における健康の推進

- (1)神奈川県は、予防接種、住民健診の受診率が低く、川崎区はさらに低い状況にある。
(2)接種率・検診の受診率が低いのは、外国人市民が多いという理由だけではない。

- ・ 予防接種の受診率低下の実情や原因をアンケートで調査する。
・ 啓発広報や受診支援等、把握された原因に応じた受診率向上につながる取組を検討する。

2 子どもを地域で支える、子どもの生きる力

- (1)子どもの生きる力をつけるために、相談できる場所等、地域で子どもを支える環境づくりが必要である。
(2)世代間交流の場を作ることが子どもたちの生きる力をつけることにつながる。

- ・ 地域で子どもの育成支援を行っている団体同士の情報共有や連携を図れる仕組みを検討する。

3 外国人市民も住みやすいまちづくり

- (1)予防接種や住民健診の案内が外国人市民にとって専門用語が多く、わかりづらい。
(2)外国人市民に十分な情報が伝わっていない。
(3)外国人市民へ十分な情報が行き届く仕組みが必要である。

- ・ 区役所各窓口における効果的な情報伝達の方法等を検討する。
・ 外国人市民を対象とした防災訓練の実施方法等を検討する。

【討議内容】

予防接種アンケート調査の概要。10月に実施

【討議結果】

- ・ 小学6年(6校)・中学3年(3校)の保護者を対象に実施。調査結果を基に予防接種への理解を深めてもらう手法を検討する。予防接種の接種有無やその理由・情報入手法等を設問

【主な意見】

- ・ 外国人保護者にも配慮し、フリガナをつけるべき→調査票に反映

【討議内容】

- ①子どもを地域で支える活動団体同士の情報共有や連携の仕組み
②地域で子どもと大人が世代交流できる取り組みのモデル事業

【討議結果】

- ①大師地区で1月を目標に、関連団体の情報交換会の開催準備を進める(詳細別紙)
②囲碁・将棋を活用したモデル事業の実施に向けて検討・準備を進める

【主な意見】

- ①第1回は、区民会議主催で、顔合わせと交流、既存イベントの相互乗り入れ等を目指した会合を開催する。ゆくゆくは自主開催、更に多様な団体の参加を目指す。
②年配の協力者は確保の目処はできたので、会場・備品・児童の参加者等の仕組み検討・準備を進めたい。

【討議内容】

- ①多言語に対応した窓口における問答集(Q & A)の作成
②外国人市民を対象とした調査

【討議結果】

- ①英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語の6カ国語の作成を目指す。
②外国人市民を対象とした健康診断の場での予備調査、市民・子ども局が実施するアンケート調査への働きかけなど検討する。

【主な意見】

- ①個別ケースにも対応、正しい窓口・手続きに案内できる問答集を目指す。
②テーマは「情報入手」。具体的な設問について今後検討を進める。